

■ 各日の質問予定者

日	順序	氏名
9月16日(金)	1	牧 田 正 樹
	2	こ ん ど う 彰 治
	3	杉 田 勝 典
	4	高 橋 浩 輔
	5	橋 本 洋 一
	6	丸 山 章
9月20日(火)	7	滝 沢 一 成
	8	中 土 井 か お る
	9	山 田 忠 晴
	10	宮 崎 朋 子
	11	武 藤 正 信
	12	本 山 正 人
9月21日(水)	13	ストラットン恵美子
	14	高 山 ゆ う 子
	15	江 口 修 一
	16	小 林 和 孝
	17	栗 田 英 明
	18	鈴 木 め ぐ み
9月22日(木)	19	安 田 佳 世
	20	橋 爪 法 一
	21	渡 邊 隆
	22	宮 越 馨
	23	平 良 木 哲 也

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	<p><b>1 食料と農業の課題について</b></p>
13 番 牧 田 正 樹	<p>(1) 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律(みどりの食料システム法)が成立し、令和4年7月1日に施行された。この法律は、農林漁業及び食品産業の持続的な発展、環境への負荷の少ない健全な経済の発展等を図ることを目的にしている。この法律を受けて、当市はどのような施策を推進していくのか。</p> <p>(2) 有機農業の推進には、学校給食(特に米飯やパン)に有機食材を導入することが有効と考えるがどうか。また、給食用米の品種について有機栽培のコシヒカリにすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 学校給食の食材について、区ごとに地元産野菜の利用を進めているが、現状と課題はどうか。また、地産地消を推進する上でこの取組は有効と考えられるが、更に推進していくべきではないか。</p> <p><b>2 通学方法の見直しについて</b></p> <p>(1) 現在、遠距離通学の児童生徒には通学費の補助が行われているが、保護者の負担や通学時の安全などからスクールバスの導入の声が上がっている。スクールバスの拡大を図る考えはないか。</p> <p><b>3 上越地域医療センター病院の改築について</b></p> <p>(1) 上越地域医療センター病院の改築後の開院予定は、当初令和7年度であったが、新型コロナウイルス感染症拡大や県の医療再編の影響で経営改善の取組に遅れが生じている。しかし、合併特例債の活用などを考えると、いつまでも開院を遅らせることはできないと考える。開院に向けたスケジュールをどう考えているか。</p> <p>(2) 現時点で診療科目や病床数など基本計画から変更点はあるのか。</p> <p>(3) 上越妙高駅方面から上越地域医療センター病院までのアクセスでは、県道「上越脇野田新井線」を通ることとなるが、歩道が狭く、除雪が困難であるなどの問題がある。すでに、改良の要望を県にしていると承知しているが、更に早期の改良を働きかけていくべきと考えるがどうか。</p>



順位 議席 氏名	質 問 事 項
3  25 番 杉 田 勝 典	<p><b>1 デジタル化による利便性向上に向けた取組について</b></p> <p>(1) 契約事務をオンライン上で完結できる「クラウド型電子契約サービス」を導入してはどうか。</p> <p>(2) 認知症高齢者等の徘徊時に早期発見・早期帰宅を支援するため、発見者が二次元コードを読み取ることで家族等に通知が行く「見守りシール」を認知症高齢者等に交付してはどうか。</p> <p>(3) 今後は、民間企業とともに、農業、観光、健康、防災、行政手続などのサービスメニューを利用できる地域情報プラットフォームをインターネット上に開設してはどうか。</p> <p><b>2 期日前投票における中山間地域の高齢者等への支援について</b></p> <p>(1) 中山間地域に住む高齢者等を対象に、マイクロバスなどによる期日前投票所までの送迎やその車内で投票できる取組をしてはどうか。</p> <p><b>3 農林業の課題について</b></p> <p>(1) 小麦粉価格高騰で米粉需要が期待される中、当市における米粉の利活用の現状と今後の可能性をどう捉えているか。</p> <p>(2) 農業と観光を結び付けた「農泊」を一層推進するため、野菜や果物の収穫などができる農村体験やグリーンツーリズム、自然景観を楽しむ体験プログラム等の充実に向けた取組を農泊団体とともに検討してはどうか。</p> <p>(3) 木材自給率が半世紀ぶりに4割台に達した好機の中、販売ルート開拓など、地元産材の供給増に向け、木材関連業者等と連携し、どう取り組んでいくのか。また、県内林業の活性化に繋げようと県産スギの輸出の動きが見られるが、市内木材業者への働きかけを進めてはどうか。</p> <p><b>4 道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について</b></p> <p>(1) 株式会社よしかわ杜氏の郷の民間譲渡に向けた取組を進めているが、道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化を目指し、頸北地域の特産品等の販売拠点として抜本的に見直してはどうか。その中で、株式会社よしかわ杜氏の郷など関連団体との連携やゆったりの郷、長峰城跡など地域の魅力あるものをいかした戦略を模索してはどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<b>4</b>	<p><b>1 地域生活支援拠点の強化と今後の方向性について</b></p>
<b>6 番 高 橋 浩 輔</b>	<p>(1) 上越市においては、令和2年に4つの地域生活支援拠点等運営事業者を指定し、地域生活支援拠点等が整備され、令和4年度にその強化のための予算措置がなされた。全国的にも先駆的と言える本措置を評価する。今後は、その機能強化が着実になされ、地域の福祉の向上に資することが重要と考えるが、これまでの取組状況と今後の方向性について聞きたい。</p> <p><b>2 強度行動障害の状態にある方や重い障害のある方の「親亡き後」に備えるための取組や支援について</b></p> <p>(1) 強度行動障害の状態にある方や重い障害のある方、そしてその保護者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには「親亡き後」への備えが不可欠であると考え、今後必要とされる取組や支援について考えを聞きたい。</p> <p><b>3 上杉謙信公の節目の年に向けた取組について</b></p> <p>(1) 6年後には上杉謙信公没後450年、8年後には生誕500周年を迎える。また、令和7年には謙信公祭が100回を迎える。できる限り早期に取組の全体像を明らかにし、具体的に着手すべきと考えるが、現在までの進捗状況と今後の見通しを聞きたい。</p>





順位 議席 氏名	質 問 事 項
7  20 番 滝 沢 一 成	<p><b>1 市長公約について</b></p> <p>(1) 昨年の市長選の際に示したとされる市長公約のすべてを、改めて明示していただきたい。</p> <p>(2) YouTubeで話した事を以て公約とするには無理がある。見解を聞きたい。</p> <p><b>2 市政とRMO及びKUNIについて</b></p> <p>(1) 地域運営組織、いわゆるRMOをどう評価するか。</p> <p>(2) 市の公的な勉強会で話をされた関原剛氏が提唱する「クニ(KUNI)」という、ある種の共同体構想あるいは仕組みをどう評価するか。</p> <p>(3) RMO、クニ(KUNI)というふたつの仕組みを上越市政に生かしていく考えか。</p> <p><b>3 世界平和統一家庭連合(旧統一教会)及び関連団体と市の関わりについて</b></p> <p>(1) 去る7月3日フィルハートピースフェスティバルというイベントが開催され、上越市は後援に名を連ねている。この催しはUPFという旧統一教会関連のNGOがプロジェクトとして行っているが、上越市が後援するに至った経緯を聞きたい。また、今回後援したことをどのように考えているか。</p> <p>(2) ピースロード2022新潟県実行委員会、及び上越郷土を元気にする会並びに新潟県平和大使協議会とはどういう団体であると認識していたのか。また、調査を行ったのか。</p> <p>(3) 反社会的活動をしていた団体及び関連団体等が、今後後援等を求めてきた時どのように対応するのか。</p> <p>(4) 市長は、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)及び世界平和女性連合その他旧統一教会関連団体と接触等はなかったか。それらが行う行事等に出席したことはないか。</p> <p><b>4 脱炭素施策について</b></p> <p>(1) 地球温暖化、二酸化炭素等温暖化の原因とされるもの、京都議定書・パリ協定など歴史的経緯、など、地球温暖化への市長の認識を聞きたい。</p> <p>(2) 現在のプロジェクト推進状況はどうか。どのような数値目標・状態目標を設定しているかなど、プロジェクト達成の基準をどこにおくか。</p> <p>(3) 環境省が進める地域脱炭素事業への応募を考えているか。</p>



順位	質 問 事 項
議席 氏名	
9	<p>1 がん治療に伴う外見変化に対する支援について</p> <p>(1) 市では、がんの罹患状況を把握しているか。また、外見変化に悩む市民の不安解消に向けた、市内の相談窓口の設置状況を聞きたい。</p> <p>(2) がん治療による外見の変化に対するケア(アピアランスケア)について、脱毛の場合は医療用ウィッグ(かつら)、乳房切除の場合は胸部補整具、切除した体の一部を補う人工物「エピテーゼ」などがあるが、いずれも高額でがん患者の負担となっている。がん患者の負担を軽減するために、これらの購入費を補助する制度を創設する考えはないか。</p>
12 番 山 田 忠 晴	<p>2 雨水排水対策と雨水貯蔵タンクの設置補助について</p> <p>(1) 近年の豪雨により、市内では市街地を中心に道路冠水等の被害が発生している。当市における雨水排水対策の現状と今後の対応について聞きたい。</p> <p>(2) 市民の中には、防災・減災の意識から、敷地内に雨水を貯めて、有効活用したり、道路の冠水に対応しようと考えている市民も少なくない。雨水貯蔵タンクを設置したい市民に対し、購入及び設置費を補助する制度を創設する考えはないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
10  7 番 宮 崎 朋 子	<p><b>1 上越市立小中学校の適正配置と本市が目指す教育環境について</b></p> <p>(1) 上越市立小中学校の適正配置を進める中で、統合後の児童の変化をどう検証し、次にいかしているか。</p> <p>(2) 学校が無くなった地域における住民生活などの変化をどのように把握しているか。</p> <p>(3) 上越市立小中学校の適正配置を進めるに当たり、統合先となる学校の地理的状況や通学時の安全性、建物の仕様などの基準についてどう考えているか。</p> <p>(4) コロナ禍以降は、より多様な学びの環境が想定される。今後、公立であっても特色あるユニークな学校が選ばれ、移住定住に繋がる可能性もあると考える。上越市立小中学校の適正配置は、そういった側面も鑑みながら進めてほしいがどうか。</p> <p>(5) 文部科学省では、廃校施設の有効活用を促進するためのPRや財産処分手続きの簡素化などを行っているが、本市では、市民や地域、民間事業者等からの活用の相談にはこれまでどのように取り組んできたか。</p> <p><b>2 本市における文化産業の育成・発展の可能性について</b></p> <p>(1) 上越市「地域の宝」認定制度の取組状況と制度の今後の展開はどう考えているか。</p> <p>(2) 文化産業とは、ファッション、アニメ、映像、音楽、演劇、デザイン、インテリア、食文化、地域産品など身の回りの生活に関連した分野を指す。今後、本市においても、地元の特色ある文化を文化産業（仕事や雇用を生み出すもの）という視点で捉え、その育成と発展に力を入れていく必要があるのではないか。例えば、本市のバテンレースは文化振興の視点で支援しているが、こうした本市の文化を文化産業という視点で取り組んでいく考えはないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
11	<p><b>1 最近の農業情勢について</b></p> <p>(1) J A えちご上越が示した米の仮渡金(60kg 当たり)について、昨年は大幅に下落したが、今年は、3年ぶりの増額となり、一般コシヒカリは14,000円、前年比1,300円の増となった。毎年の米価の変動は農家の経営に即影響するが、市はどのように捉え、対応するのか。</p> <p>(2) 肥料・農薬など農業資材について、価格が2倍近くになるものがあると承知しているほか、J A では、早い時期での予約申込を促すなど、品物の調達に苦慮することも懸念されるが、市はこの状況をどのように捉え、対応するのか。</p> <p><b>2 小中学校の統廃合について</b></p> <p>(1) 少子化に伴い、児童・生徒数が激減して、複式学級で授業をする学校もあるが、教育委員会としてどのように考えているか。</p> <p>(2) 教育委員会は、小中学校の統廃合の取組を進めているようだが、その取組状況を聞きたい。</p>
12	<p><b>1 空き家対策について</b></p> <p>(1) 適切に管理されず放置された空き家等は、防災や衛生、環境などの面で近隣に悪影響を及ぼす。地元町内会と情報を共有し、注視していくために連携が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 特定空き家等に認定された町家など老朽した危険な空き家等について、屋根雪によって倒壊の危険が増すと予測されるが、どのように対処するのか聞きたい。</p> <p>(3) 県道や市道沿いの特定空き家等について、歩行者の危険が予測される場合に、県と市の垣根を超えた連携強化が必要と考えるがどうか。</p> <p><b>2 浄水場の水質管理について</b></p> <p>(1) 朴ノ木川を水源とする水道水は、切越浄水場から安塚区内の約8割の家庭に供給されているが、その水道水から異臭が発生する事案があったことについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 異臭の原因は何か。また、今後の対策を聞きたい。</p> <p>イ 安全性に問題はないと防災行政無線で放送があったが、そこに至るまでの時間が長かった要因は何か。発生から復旧までの対応について聞きたい。</p> <p>ウ その水を飲料水として利用している家庭に給水車などの手配を検討したのか。</p>
15	<p><b>1 空き家対策について</b></p> <p>(1) 適切に管理されず放置された空き家等は、防災や衛生、環境などの面で近隣に悪影響を及ぼす。地元町内会と情報を共有し、注視していくために連携が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 特定空き家等に認定された町家など老朽した危険な空き家等について、屋根雪によって倒壊の危険が増すと予測されるが、どのように対処するのか聞きたい。</p> <p>(3) 県道や市道沿いの特定空き家等について、歩行者の危険が予測される場合に、県と市の垣根を超えた連携強化が必要と考えるがどうか。</p> <p><b>2 浄水場の水質管理について</b></p> <p>(1) 朴ノ木川を水源とする水道水は、切越浄水場から安塚区内の約8割の家庭に供給されているが、その水道水から異臭が発生する事案があったことについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 異臭の原因は何か。また、今後の対策を聞きたい。</p> <p>イ 安全性に問題はないと防災行政無線で放送があったが、そこに至るまでの時間が長かった要因は何か。発生から復旧までの対応について聞きたい。</p> <p>ウ その水を飲料水として利用している家庭に給水車などの手配を検討したのか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
13  5 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症について</b></p> <p>(1) 常に最善を求められる感染症の対応について、状況も刻一刻と変化し、情報も錯綜する中、当市における今までの感染予防の対応と市民の安心安全につながる今後の対応について聞きたい。</p> <p><b>2 女性の健康の取組について</b></p> <p>(1) 女性活躍・女性参画の促進を施策に掲げる当市において、月経随伴症状によって困っている女性を支援することは必要と考える。女性の月経随伴症状に対する市の対応状況について聞きたい。</p> <p>(2) 月経痛により日常生活に何らかの支障が生じる場合、「月経困難症」の可能性はあるが、実際に医療機関の受診や治療に繋がるのは、そのうち数パーセントと言われ、いまだ「月経痛は病気でない」「我慢するもの」といった国内における社会的認識の低さが伺える。それらを解消するためには、小・中学校でのより丁寧な正しい知識の教育や相談しやすい環境整備が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 上越市女性サポートセンターは、女性の社会参画に関するセミナーの開催に留まっている。女性の生涯を通じた健康の支援や、特に昨今の社会問題である生理の貧困といった課題などに取り組むための分野横断的機能として強化すべきと考えるがどうか。</p> <p><b>3 海岸周辺のごみの問題について</b></p> <p>(1) 地域の方々が定期的に海岸清掃をしているが、まるでイタチごっこのようにごみが減らない。こうした海岸周辺のごみの問題について、市長の見解を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
14	
8 番 高 山 ゆ う 子	<p><b>1 市所管施設における自動体外式除細動器（AED）の設置場所について</b></p> <p>(1) 市所管施設には、令和4年3月31日現在で、243施設に252台のAEDが設置されているが、そのほとんどが建物内部に設置されており、時間外や夜間は建物が施錠され、使えない状況になっている。時間外や夜間であっても、365日24時間使用できるようにして心停止の傷病者を救命することが必要であり、設置場所等の検討が必要と考えるがどうか。</p> <p><b>2 公の施設における高座椅子の配備について</b></p> <p>(1) 公民館をはじめとする公の施設の和室には、現在、座布団などが配備されているが、最近、高齢の市民から高座椅子の配備を望む声を多く聞く。この要望に対し、今後どのように対応するか聞きたい。</p> <p><b>3 子宮頸がんワクチンの接種について</b></p> <p>(1) 子宮頸がんワクチン接種は、国の通知により、平成25年から積極的接種勧奨が差し控えられていたが、令和3年12月から再開された。その経緯について聞きたい。また、当市としての当該ワクチン接種に対する考えと中断していた期間から現在の接種状況、キャッチアップ対象者を含めた今後の取組について聞きたい。</p> <p><b>4 上越市地域防災計画における「自助」意識と自主防災組織の強化について</b></p> <p>(1) 昨年5月の災害対策基本法の一部改正で避難勧告・指示が一本化された。当市においても地域防災計画が改訂され、災害時対応について、住民1人ひとりが「自らの命は自らが守る」という意識強化を図り、自らが行動できるような取組を現在どのように進めているか。また、その取組が自主防災組織の強化につながっていくと考えるがどうか。</p>



順位	質 問 事 項
議席 氏名	
16	<p>1 歴史文化をいかした通年観光について</p> <p>(1) 高田、直江津、春日山の関係団体との意見交換会を開催しているが、それぞれどのような感想をもったかを聞きたい。</p>
18 番 小 林 和 孝	<p>2 春日山城を本格的な観光地にするための取組について</p> <p>(1) 春日山城跡周辺の現状について、市長は、観光スポットとして駐車場やトイレ、食堂、土産物店が不足しており、謙信公や春日山の歴史を感じてもらえる仕掛けが乏しいとの認識を示している。市のこれまでの取組について、どう考えているか。</p> <p>(2) 平成20年設立の春日山城跡保存整備促進協議会は、設立当初から史跡指定地拡大・公有地化の促進をはじめ、上越市埋蔵文化財センター内外の施設設備の整備、飲食施設を含む物産館や仮称春日山歴史博物館の新設などを要望している。また、上越商工会議所・上越観光コンベンション協会は、平成26年に謙信公聖地フィールドミュージアム構想、平成29年に上越市の更なる観光振興に向けた要望書を市に提出した。これらの要望事項の実現は、市長の懸念する春日山城の観光資源の不足を補うことができると考えるが、実施を検討してはどうか。</p> <p>(3) 市長は、春日山城跡への市民の思いや国指定文化財としての開発行為などの制約を踏まえ、春日山城跡を観光地とするためのビジョン・構想を示すべきではないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
17  24 番 栗 田 英 明	<p>1 人事・組織改革について</p> <p>(1) 市長は、なぜ人事改革が必要と考えたのか。それは市長就任前か後か。</p> <p>(2) 「職員に元気がない」と市長が述べたと聞いているが、現在までにその理由を分析できているか。また、それはいつまでに解消できると見込んでいるか。</p> <p>(3) 総務常任委員会において、自己申告書の集計結果では、今の仕事に対する満足度について、「不満」と思わない職員が82%いると答弁があったが、市長はその結果をどう評価しているか。</p> <p>(4) 職員意見を集約した結果、「組織風土」が課題であると認識している職員が多いが、その課題解決に向け、何をいつまでにやらなければならないと考えているか。</p> <p>(5) 組織体制について、令和3年12月議会で副市長4人制への条例改正案並びに政策諮問委員の予算は否決されたが、その後、状況の変化や議会からの指摘についての改善はあったのか。</p> <p>(6) 中川市政における体制づくりは、外部や民間の意見集約の機能を強化するのではなく、組織内体制の強化であると考え。市長補佐官を複数任用して、市長直轄機関を強化すべきではないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
18  4 番 鈴 木 め ぐ み	<p><b>1 上越市の奨学金制度について</b></p> <p>(1) 市が運用している「上越学生寮奨学金」、「上越市奨学金」及び「上越市定住促進奨学金」について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 各奨学金の利用状況及び返済状況はどうか。</p> <p>イ 利用者又は利用を要望する世帯からの意見や要望を把握しているか。また、意見等を把握する中で認識した課題や問題について聞きたい。</p> <p>ウ 「上越市奨学金」にのみ応募要件に成績要件があるのはなぜか。成績基準を満たすことができない場合、経済的困窮やヤングケアラー等の家庭の事情が大きく影響しているケースが想定される。家庭形態が多様化している現代社会において、成績要件は廃止すべきと考えるがどうか。</p> <p>エ 奨学金は、いずれも貸与型のため返還義務を負うが、そのことが負担となり利用を躊躇する世帯がある。返還義務のない給付型の奨学金制度を創設し、経済的困窮、ヤングケアラー、コロナ禍による減収などの家庭の事情により学ぶ機会が奪われている子どもたちに対して、強くサポートする必要があると考えるがどうか。</p> <p><b>2 子育て支援政策のコロナによる影響及び先進自治体事例について</b></p> <p>(1) コロナウイルス感染拡大後、拡大前と比して当市の出生数に変化が見られるか。また、コロナウイルス感染拡大は、子育て世帯の生活にどのような影響を与えたと考えているか。</p> <p>(2) 先進的な取組を行っている兵庫県明石市では、市の子育て支援関連予算を倍増し、学校給食、保育料、医療費、遊び場、おむつ等の無料化を進めており、人口及び出生率が伸びている。当市も「子育て全国一」を目指し、実現していくのであれば、明石市の政策を積極的に取り入れていくべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 明石市長とのトップ対談や講演会などを実施することで、市民への啓発と子育て支援社会の機運の醸成が図られると考えるがどうか。</p> <p><b>3 大池いこいの森の活用について</b></p> <p>(1) カヌーやSUP(スタンドアップパドルボード)など環境に優しいスポーツを楽しむ場として大池を活用すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 「にいがた景勝100選」にも選ばれたこの場所をテントサウナや自然ヨガも楽しめる場として活用すべきと考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
19	<p><b>1 地域自治推進プロジェクトについて</b></p> <p>(1) 現在の進捗状況と今後の方向性はどうか。</p> <p>(2) 地域自治の課題として「地域の人材」の確保が困難と考えられているが、どのように解決していくのか。</p> <p>(3) プロジェクトを進める上で、地域と関わる総合事務所やまちづくりセンターが重要な役割を担うと考える。総合事務所やまちづくりセンターの組織体制及び他の部署との連携はどのように行う方針か。</p> <p>(4) 「(仮称) 地域独自の予算」について、地域協議会や市民に制度を周知する中で、どのような意見が出ているか。</p> <p>(5) 「(仮称) 地域独自の予算」の制度の中で提案される事業について、市の既存の事業として予算案への計上を行った方が適切な場合も考えられると思うが、どうか。また、これまで地域活動支援事業で採択されてきた取組のうち、「(仮称) 地域独自の予算」の対象とならない取組があった場合、どのような対応を考えているか。</p>
<p><b>2 番 安 田 佳 世</b></p>	<p><b>2 人事改革プロジェクトについて</b></p> <p>(1) 現在の進捗状況と今後の方向性はどうか。</p> <p>(2) 職員への意見聴取を行った結果について、市長はどのように考えているか。</p> <p>(3) 職員への意見聴取の結果として、「組織風土」に関する意見が多かった。「組織風土」を改善することは簡単ではないと考える。どのように改革する方針か。</p> <p>(4) 現在の執行体制の課題、今後目指す執行体制、また、その体制になった場合の利点は何か。</p> <p>(5) より円滑な行政運営のためには、現在の部や課の整理や統合が適切な場合も考えられる。4つのセクションに分けた理由とその中に配置される部課についてどう考えているのか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
20	<p><b>1 原子力発電政策について</b></p> <p>(1) 岸田首相が8月24日に明らかにした「次世代型原発の開発・建設の検討」及び「既存原発の最大限の活用」の方針などの新方針について、市長の認識を聞きたい。</p> <p>(2) 新方針については、柏崎刈羽原子力発電所のUPZ(原発から半径5~30km圏内の避難準備区域)自治体の首長として撤回を求めるべきだと思うがどうか。</p> <p>(3) 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に当たって、UPZ自治体が「事前了解権」を有する安全協定を結ぶことが必要と考える。その点について、市長の見解を改めて聞きたい。</p> <p>(4) 新潟県は、令和4年度から柏崎市のUPZ住民に安定ヨウ素剤の事前配布を開始したが、当市のUPZ住民には配布されていない。今後、本市としてどう対応するのか聞きたい。</p> <p>(5) 「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画」は、平成27年9月に策定されてから7年が経過している。「随時更新」としながらそのままとなっている。今後の方針について聞きたい。</p>
31 橋 爪 法 一	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
21	<p><b>1 上越動物保護管理センターの移設・充実について</b></p> <p>(1) 上越動物保護管理センターについて、県と連携して移設を検討する考えはないか。</p> <p><b>2 ペットの同行避難について</b></p> <p>(1) これまで、防災だけでなく避難所の公衆衛生という観点から関係部署が連携してペットの同行避難に取り組むべきと提案してきたが、市の取組状況を聞きたい。また、市民への周知にどのように取り組む考えか。</p> <p><b>3 部活動の地域移行について</b></p> <p>(1) 本市では、令和4年7月に部活動の地域移行に関する推進委員会を立ち上げたが、現時点での取組の状況を聞きたい。また、検討の中で、移行に向けた課題をどう捉えているか聞きたい。</p>
23 渡 邊 隆	



- オ 副市長制度をいかした分権型ブロック制(一市二制度)の導入
  - カ 脱炭素カーボンゼロ実現の切り札である再生可能エネルギー(太陽光・水力・バイオマス発電など)の促進などSDGsへの取組
  - キ 上越火力発電所の東北電力第2号系列の着手への取組
  - ク 土木建設インフラ整備事業の促進(街づくりリニューアル事業の推進)
  - ケ 新幹線周辺のまちづくりや直江津駅前再開発(直江津南小学校・直江津小学校統合)への取組並びに直江津レールタウン構想の着手
  - コ アフターコロナ対策として、新たな安心社会システムとしてのナースコールタウン構想の実現
  - サ 廃校の利活用について、市営住宅、ITサテライトオフィス・コワーキングスペース、市立特別支援学校、農都市学校などでの対応
  - シ 農山村における持続社会システムの構築を目指す地域経営会社(新しい資本主義社会のあり方としてのコミュニティカンパニー)の創設への研究など
- (2) 私との政策協定の中で、こうした「協定を結んだ政策協定の政策実現に当たっては、宮越馨のノウハウがいかせる態勢をとる」と約束したが、いつどのように実現に当たっての態勢をとるか。

### 3 コロナ禍での市内経済のダメージに加え、原油高・物価高による市民生活へのダメージ対策について

- (1) 総括質疑では、原油高・物価高へのダメージの度合いを聞いたが、実態とかけ離れている感が強い。私の令和4年6月定例会での答弁で、市長は「今後も随時、感染拡大の状況や市内経済の状況の把握に努め、状況に応じて必要な支援を、機を逸せずに実施してまいります」としているが、なぜ補正予算で措置をしなかったか。
- (2) こうした緊急事態に対し、直ちに緊急措置などを講じるべきと考えるが以下の点について所見を問う。
- ア 令和4年6月定例会で措置された救済措置に漏れた、特に減収幅20%未満の事業者や小規模零細家族経営事業所・店舗に対して、一律10万円程度の緊急支援給付金を支給すること。
  - イ 原油高・物価高で困窮する全市民への緊急生活支援対策として、全世帯(全給水戸数)の水道料金(基本料金など)を、ダメージの状況に応じ一律半年か1年分の水道料金の減免措置を講じること。

順位 議席 氏名	質 問 事 項
23  19 番 平 良 木 哲 也	<p><b>1 安塚中学校・浦川原中学校・大島中学校の統合について</b></p> <p>(1) 統合を巡るこれまでの経緯を詳しく明らかにされたい。</p> <p>(2) 文部科学省は、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」で、学校統合の適否の検討について極めて慎重かつ総合的な取組に基づいた議論及び判断を求めているが、この間、学校が持つ多様な側面(防災拠点としての役割、児童生徒の放課後・土曜日等の活動拠点、地域における文化・スポーツの活動拠点、地域のコミュニティの精神的支柱とも言うべき側面、合併前の旧市町村のつながりの象徴としての機能)への対応について、市長部局での検討も含めてどのような議論がなされてきたのか。</p> <p>(3) 統合を契機として、魅力ある学校づくりをどのように進めていく考えか。また、統合によって生じる様々な課題をどのように解決していく考えか。</p> <p><b>2 世界平和統一家庭連合(旧統一協会)及び関連団体について</b></p> <p>(1) これら団体について、市長はどのように認識しているか。また、市長はこれら団体との接触や関連はないか。</p> <p>(2) 旧統一協会は、いわゆる靈感商法や洗脳と言われるマインドコントロールを利用した高額な物販と献金、教団が結婚相手を決める合同結婚式、麻薬関連のマネーロンダリングと密輸、信徒の拉致監禁問題など、反社会的行為を繰り返してきたと言われているが、当市における被害の実態を把握しているか。また、その実態を確実に把握し、国や県とも連携して被害者に支援の手を差しのべる必要があると考えるがどうか。</p> <p>(3) 市として、これら団体に関し、どのように対応していく考えか。</p> <p><b>3 性的少数者への支援について</b></p> <p>(1) 性的少数者として、生きづらさなど困難を抱えている人の状況把握及び支援はどのように行っているか。</p> <p>(2) 同性の婚姻が認められていないことから、当面、自治体が同性カップルの「結婚に相当する関係」を証明する制度いわゆる「同性パートナーシップ制度」を導入すべきと考えるがどうか。</p>